

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-07-06

明治二十年民第百九号

(発行年 / Year)

1910

順治廿年庚子九月

裁制言源昌經

提餅人太段存東區高勉麗榜五丁同

三十五 平地 平民 中 八 乙 高

岩浪雷助

此何人

吓
謀
蕞
蕞

社於訴人方際初此區之紳穆王令目

才力地平民米高山本ヤ又於續人

山本時太郎

現代人字跡西筆歌難波六乃七十八

如富地平民

馬田亭

名古屋控訴院

現山本何公郎有浪瀟脚之傳家寶堂注航事件
古常規族有太政館訴院中意後ニタル裁判ヲ破敗ニ本院
一福井ノ支主山本町四郎有當判飛出ルニ依リ之ヲ否定
理ニ双方陳罷ヲ極メ之共要領達ニ如ク

控訴人ノ爲メに被控訴人ヲ逮捕スルハ訴惜家ニ嚴重ハ
脅ト被控訴人カ以テ家主笹川吾吾海ニ告ヘテ是レモ
コニテ控訴人カ當否解_ケズ該宗尹更ヒ其ルニ際月暮
吾等ハ勿論被控訴人ヨリモ有數重ノハ面會セナリ又
取調ベモ當サレハ之ヲ當ルニ由ナク隨テ數金ヲ繼續ス
ニキ理因モサケレハ其控訴ニ應ス一年以前秋迄ナシト云フ
ナリ

程控訴人、要旨ハ市宗主、越川、菅、吾上
 三、五人、七、九、在、控訴人、カ、後、家、ヲ、買、取、ル、際、波、控訴

改字

人よりハ向滞者無事多ク之ヲ告テシタル、ミナスル
借家人アル家屋ヲ買取ル者共借金ノ如何ヲモ取柄
ハサレハ金ナケル控訴人於テニツチテサレハ金ヲケテ陪
申訴ヲ拒ムノ理由ナシト云フニ在リ

依リ双方ノ証書ヲ閲シ双方ノ辯論ヲ聽キ決断スル也
ト云フ

被控訴人ハ控訴人カ家屋ヲ買取ル際金をアルト
控訴人ニ告ケタルハ向滞借家人アル家屋ヲ買取ル者
ニシテ其金を取柄ナレハサレハ金ナシト云フ控訴人ハ言
ト年ハリ今後ト云フ控訴人ハ當時申シテ証アルト云
タルモノトスルニ云フ以テ其手ニ控訴人カ買取ル者
金ヲ継続シタルモノト爲スヲ爲ス所ナレハ當時控訴人
カ取金アリシヲ云フモ控訴人カ之ヲ継続スルト云フハ

名古屋控訴院

控訴被控訴人及買取人ノ意思ニ依リ孰ト云フ
乃チ其ト云フモノハナリ然リ而シテ其意思ノ孰ト云フ
ヤハ當時契約當時交付シタルモノト云フ以テ其事
ハ取三人カ取ルノ跡ニ就キ之ヲ見ルノ外ナキナリ依テ其
買取人ノ意思ヲ見ルハ向人ヲ控訴人ニ送レル追加
ハ多シト云フ控訴人ニ送レル申シテ証トハ其事
カ取金アル事無キ事無キト云フ申シテ証ニ依ル
モ取金アル事無キ事無キト云フ申シテ証ニ依ル
証メ取タル事實ハ後証ノ文詞ニ依リ明瞭ナレハ其
控訴人ハ其語リタル事多ク控訴人ハ其語リタル事
ヲ見ルニ是レモナリ又控訴人カ其語リタル事
買取人陰乙セテ証ト云フ月賦証ヲ取リタル事
多シト云フ或ル証ト云フシタル証又ハ訴何カ費等ヲ

ハ其ノ氣ニ係ル、外途ニナキモ、ト信ニタレト出テタレ
ノナルトト惟モ已ニ此ニ名ヲ提訴人ニ継體セサルノ意思
ニテ該家ヲ賣買シ以ツテ貸借ニタレハ其ニ其継體セ
サント欲シタルモ、ト認メサルヲ得サント得サントアリ
發覺ノ家屋賣買ノ貸借ニ附屬スル等理情ヲ至理
ニ其継體セリ提訴人ニ施スルヲ得サントトス
取、理由ナリト以テ判決スルモ、如シ
大改修當時判ルカ昭和十九年二月台官意ニタレ裁
判ハ之ニテ取消ス依テ被提訴人カ訴ノ請求相立タス
訴訴入費ハ該家賣買被提訴人立テ負擔スルニ
昭和二十年十月十日名古屋控訴院公達ニ於テ總
當人裁判ノ旨函スモ、也

名古屋控訴院

名古屋控訴院

陳宣史 杉田道夫

孫宣史 山岡 啓

陳宣史 櫻崎清生

芳 記 鈴木重氏

其有命ト係リ此勝訴ノ化ルナリ

名古屋控訴院

昭和二十年七月十日 高松 杉山 中 氏

